

2022年4月15日  
 一般社団法人日本能率協会

## 事業とISO・FSSCマネジメントシステムを一体化させて成長している5組織を選出 「JMAQA AWARDS 2022」受賞組織決定！

アップコン株式会社、安曇川電子工業株式会社、タイコエレクトロニクスジャパン合同会社、東和電機工業株式会社、理研ビタミン株式会社 草加工場 の5社が受賞

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、ISO9001(品質)、14001(環境)、13485(医療機器)、22000(食品安全)、27001(情報セキュリティ)、27017(クラウドセキュリティ)、20000(ITサービス)、45001(労働安全衛生)、22301(事業継続)、39001(道路交通安全)、FSSC22000(食品安全システム)、JFS-C規格(食品安全マネジメント協会認証スキーム)の認証について、小会に登録いただいている約2,500組織を対象とした表彰制度「JMAQA AWARDS」を設けています。



本表彰制度の目的は、事業とマネジメントシステムを一体化させることで成長している組織の好事例を称え、その実践の考え方や工夫を、広く認証取得組織に共有することです。

5回目を迎えた「JMAQA AWARDS 2022」では、審査員による推薦組織の中から選考委員会の審議を経て、以下の5社が受賞しました。

### 【JMAQA AWARDS 2022 受賞結果】 <https://www.jma.or.jp/jmaqa/awards/>

(組織名五十音順)

アップコン株式会社	「人材育成」で“自己研鑽とプロフェッショナル化”を図り ISOと事業運用が融合した仕組みで全社目標を達成
安曇川電子工業株式会社	“安曇川フィロソフィ”で職場の活性化と健全度を実現 「全員参加型」の仕組みで改善活動・5S・SDGsを活発化
タイコエレクトロニクスジャパン合同会社	「内部監査」の目的・役割を再確認、実施方法を見直し 監査パフォーマンスとしてEMS自体の有効性向上へ
東和電機工業株式会社	独自開発の「コックピットスコアカード」で半期毎に実績評価 ISOで経営トップを軸とした営業と製造の部門連携を促進
理研ビタミン株式会社 草加工場	省エネ大賞・IT賞受賞による「SDGs・DXに対する取り組みの見える化」 ISO業務のデジタル化・DX推進による省力化・高度化の実現

※ 受賞組織の取り組み概要は2頁以降を参照ください。

JMAQA(一般社団法人日本能率協会 審査登録センター)は、80年以上の歴史のある経営専門団体 日本能率協会が設立した審査登録機関です。1994年に第三者認証機関として設立されて以来、常に「経営革新につながる審査」を目指しております。

小会が培ってきたマネジメントの技術、知見、ノウハウをベースとし、経営品質の向上につながるISOを中心とした第三者認証審査を実施しております。

「JMAQA AWARDS」は、2018年より毎年、実施しており、企業のビジネス環境を取り巻くさまざまな変化に対応して、各種マネジメントシステムの活用により、品質管理・改善、環境・サステナビリティ・SDGs、食品安全、情報セキュリティ、労働安全衛生など各分野におけるさまざまな対応で顕著な改善効果の実現や、ユニークな取り組み活動を展開している組織を賞すものです。

## ■ 受賞組織取り組み概要

### ● アップコン株式会社

テーマ：「人材育成」で“自己研鑽とプロフェッショナル化”を図り  
ISO と事業運用が融合した仕組みで全社目標を達成

#### 《取り組み概要》

土木・建築工事事業者であるアップコン株式会社は、地震や地盤沈下で傾いてしまった建物構造物などのコンクリート床補修工事やウレタン充填工事において従来の 1/10 の施工工期を実現した「アップコン工法（特許取得済）」により事業を拡大しています。その施工対象は、工場から倉庫、店舗、道路、住宅、学校、空港、港湾など幅広く、総施工数は 2,800 件以上になります。

今回の受賞は、ISO の仕組みについて、「事業と一体化したシステムをトップ主導で構築、運用」を行い、「人材育成においても効果的に活用」している点が評価されたことによります。

同社では、日常業務遂行の中に ISO システムを取り込んでおり、マネジメントシステムと事業運用を融合した仕組みを実現。目標管理においては、トップによる全社年度目標が、各部門の現場まで展開する仕掛けになっており、トップの方針・考えが従業員全員に浸透しています。

「人材育成」も積極的に推進しており、さまざまな社内資格について全従業員に取得を推奨。各々のスキルアップについて社をあげて継続的に推進しており、2021 年度 品質／環境目標のキーワードである「自己研鑽とプロフェッショナル」を実践しています。

#### 《組織概要》

住 所 : 神奈川県川崎市

Web サイト : <https://www.upcon.co.jp>

認証取得 : ISO9001 : 2005 年 ISO14001 : 2008 年 ISO/IEC27001 : 2017 年

### ● 安曇川電子工業株式会社

テーマ：“安曇川フィロソフィ”で職場の活性化と健全度を実現  
「全員参加型」の仕組みで改善活動・5S・SDGs を活発化

#### 《取り組み概要》

安曇川電子工業株式会社は、プリント基板実装受託会社として、「お客様からの“こんなサービスあったらいいな”を実現する」をモットーにしています。基板実装サービスに加え、半田付け、ユニット組立・配線、製品組立まで一貫支援ができる体制を構築し、周辺業務である、治具作成、検査機作成・対応、実装マスクの対応など周辺支援も提供しています。

今回、独自の「安曇川フィロソフィ」などを活用した「全員参加型」の ISO システム（小集団採算制度）を運用している点が高く評価されました。

同社の仕組みは、経営計画で「事業計画」を策定して、各部門で「方針展開／月次展開」で展開し事業計画と QMS の統合を実現。マネジメントレビューでは事業計画の実現ために機能させ、経営者プロセスの PDCA で継続的改善を推進しています。

「全員参加型」については、全ての従業員が改善活動や 5S 活動、SDGs へ積極的に取り組んでいます。その一環である「理念浸透プロジェクト」では、「安曇川フィロソフィ」を導入し、健全度向上の視点で「個人行動計画表」に全従業員の目標を明記し、職場に掲示し実行する仕組みを整えることで、職場の活性化や健全度の推進を実現しています。

#### 《組織概要》

住 所 : 滋賀県高島市

Web サイト : <https://www.adogawa.co.jp>

認証取得 : ISO9001 : 2000 年

### ● タイコエレクトロニクスジャパン合同会社

テーマ：「内部監査」の目的・役割を再確認、実施方法を見直し  
監査パフォーマンスとして EMS 自体の有効性向上へ

#### 《取り組み概要》

タイコエレクトロニクスジャパン合同会社は、接続技術分野の世界的なメーカーの TE Connectivity の日本法人です。コネクタやスイッチ、センサー等々で構成される各種プログラミングシステム・インターフェースユニット機器は、自動車（電気自動車）から電力（航空・鉄道等）、産業機器、通信ネットワーク、家電製品、メディカル&ヘルスケア等々、今日の暮らしに欠かせない社会基盤ツールとして活用されています。

今回の受賞では、「内部監査の有効性向上に向けた創意・工夫の取り組み」が高く評価されました。同社では内部監査に関して、その目的と役割について再確認を行い、実施方法について見直しを図りました。

例えば監査チームは、ベテランと中堅、新人の編成にして、多様な視点を持たせるとともに、ベテランのノウハウを学ばせる場と位置付けています。内部監査の実施にあたっては、良いポイントを含めたコメントを必ず出すと取り決めて、実際のコメントには EMS のパフォーマンスや有効性向上につながる内容が多数含まれており、今後の改善活動への展開が大いに期待されます。

#### 《組織概要》

住 所 : 静岡県掛川市 (掛川工場)

Web サイト : <https://www.te.com/jpn-ja/home.html>

認証取得 : ISO14001 : 1996 年

### ● 東和電機工業株式会社

テーマ: 独自開発の「コックピットスコアカード」で半期毎に実績評価  
ISO で経営トップを軸とした営業と製造の部門連携を促進

#### 《取り組み概要》

東和電機工業株式会社は、受配電・制御システムメーカーとして、製造・配電制御から計装制御、情報通信に至るまでのトータルエンジニアリングサービスを提供しています。独自技術を活かした製品開発事業も重視しており、糖度計「アマミール」は、光センサーを当てスイッチを押すだけで、糖分が吸収する光の成分の変化量を読み取る機能が注目されています。

今回の受賞は、「経営層のリーダーシップによる ISO システムの活用」と「柔軟な発想に基づいた改善」の2点からです。

同社では経営トップを軸とした営業と製造の部門間の連携で ISO システムを活用しています。例えば独自の「コックピットスコアカード」は、全社ミッションに基づいた事業課題の単年度解決策と部門品質目標の施策を融合したもので、半期毎の実績評価と改善のツールとして機能しています。

改善実例としては、形骸化した監査プログラムの見直しの実施、CS 調査を WEB アンケート方式に変更しています。また、現場作業の危険やミス・ロスのリスクを予防するために「作業手順書兼教育訓練報告書」の整備し教育訓練ツールとして活用しています。

#### 《組織概要》

住 所 : 青森県南津軽郡

Web サイト : <https://www.towagp.co.jp>

認証取得 : ISO9001 : 2000 年

### ● 理研ビタミン株式会社 草加工場

テーマ: 省エネ大賞・IT 賞受賞による「SDGs・DX に対する取り組みの見える化」  
ISO 業務のデジタル化・DX 推進による省力化・高度化の実現

#### 《取り組み概要》

理研ビタミン株式会社は、家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン類などの製造・販売を行っています。受賞対象の草加工場は、エキス抽出・濃縮技術を活かし、日本最大のラーメンスープ工場として立ち上がり、現在の主要取扱製品は、粉末・顆粒では和風だしや各種スープ・調味料等、液体ではドレッシングやつゆ・たれ・ソース等です。

今回の受賞は「社会的なテーマでもある SDGs・DX に対して、精力的に取り組むだけでなく、外部発信に繋げ複数の賞を受賞しており、社会貢献が大きい点」「ISO 業務のデジタル化・DX 推進により、省力化のみならずコミュニケーションの質とスピードを高めた点」において高く評価されたことによります。

また、草加工場の活動は“内製化”がひとつのテーマとなっており、これらの高度な活動をコンサルタント・エンジニアに外注せず、既存マネジメントシステムへ活動を落とし込むことによって実現しています。この“内製化”により、コスト削減だけではなく人材教育という副次効果を獲得しており、その人材を活用し新しい活動に繋げるという好循環を形成しています。

《組織概要》

住 所 : 埼玉県草加市

Web サイト : <https://www.rikenvitamin.jp>

認証取得 : ISO9001 : 2000年 ISO14001 : 2002年 ISO22000・FSSC22000 : 2014年

**【本件に関するお問合せ先】**

一般社団法人日本能率協会 審査登録センター 「JMAQA AWARDS」事務局 (担当: 渡辺)

電話 : 03-3434-1446 JMAQAinfo@jma.or.jp

**【取材のお問合せ先】**

一般社団法人日本能率協会 経営企画センター 広報・マーケティング室 (担当: 綿貫)

TEL:03-3434-8620 または 090-6510-9161 E-mail : jmapr@jma.or.jp